

荒川ダム群等の現状と今後の見通しについて



滝沢ダムと奥秩父もみじ湖(令和6年11月1日撮影)

令和6年11月6日

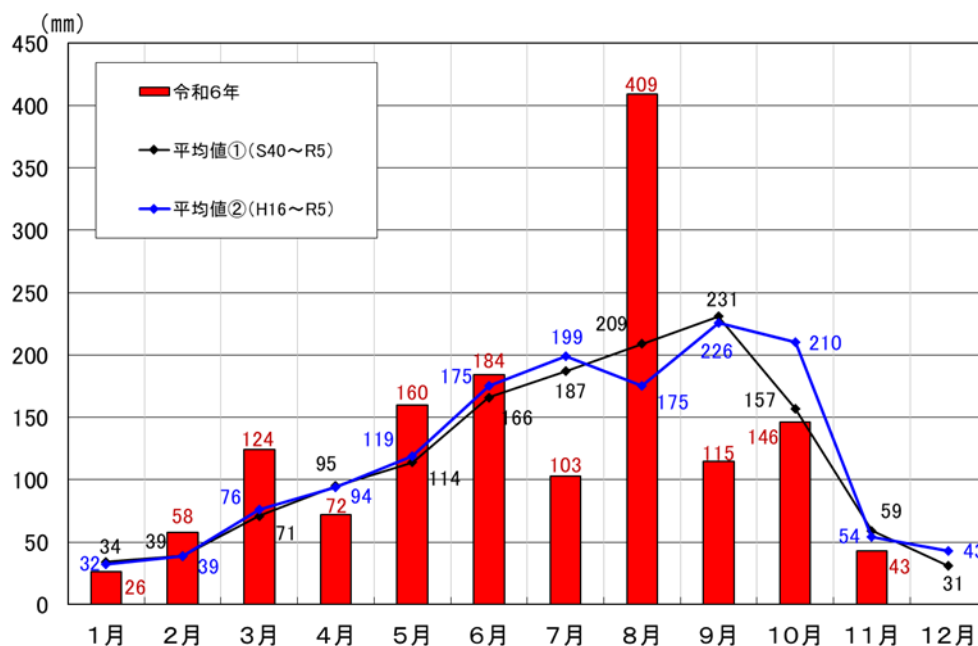
関東地方整備局

1. 荒川4ダム等の現状

1) 秋ヶ瀬地点上流域平均降水量の状況（令和6年11月5日0時までの降水量）

秋ヶ瀬（埼玉県志木市宗岡地先）地点上流域における4月の降水量は平均値（昭和40年～令和5年の59年間の平均）の約76%（72mm）であり平均値を下回りましたが、5月は平均値の140%（160mm）、6月は平均値の111%（184mm）と平均値を上回る降水量でした。7月は平均値の約半分である55%（103mm）でしたが、8月は台風10号の影響等による降雨で平均値の196%（409mm）となり、平均値を大きく上回りました。9月は平均値の半分の約50%（115mm）、10月は平均値の約93%（146mm）となっており、平均値を下回っています。

（図－1、表－1 参照）



図－1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和6年11月5日0時まで）

表－1 荒川秋ヶ瀬地点上流域平均降水量（令和6年11月5日0時まで）

単位 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
平成24年	36	54	93	86	257	217	102	65	245	93	54	33	1,335
平成25年	35	18	37	152	36	172	94	77	238	327	17	46	1,249
平成26年	8	179	51	51	73	512	125	182	125	286	62	28	1,682
平成27年	41	23	48	84	47	192	281	213	322	26	119	28	1,424
平成28年	75	53	74	72	44	119	90	462	247	31	87	60	1,414
平成29年	24	10	73	67	67	70	218	263	138	488	13	7	1,438
平成30年	27	17	160	53	124	118	200	184	340	44	21	24	1,312
令和元年	10	24	97	58	91	239	225	137	166	725	80	29	1,881
令和2年	95	11	105	186	103	221	304	56	261	209	5	3	1,559
令和3年	36	43	110	60	102	140	288	209	144	117	51	66	1,366
令和4年	7	26	65	162	110	159	278	123	233	109	64	25	1,361
令和5年	6	25	86	39	142	296	47	173	173	67	47	9	1,110
平均値① (S40~R5)	34	39	71	95	114	166	187	209	231	157	59	31	1,393
平均値② (H16~R5)	32	39	76	94	119	175	199	175	226	210	54	43	1,442
令和6年	26	58	124	72	160	184	103	409	115	146	43		1,440
平均値①に 対する割合 (%)	76%	149%	175%	76%	140%	111%	55%	196%	50%	93%	73%		103%

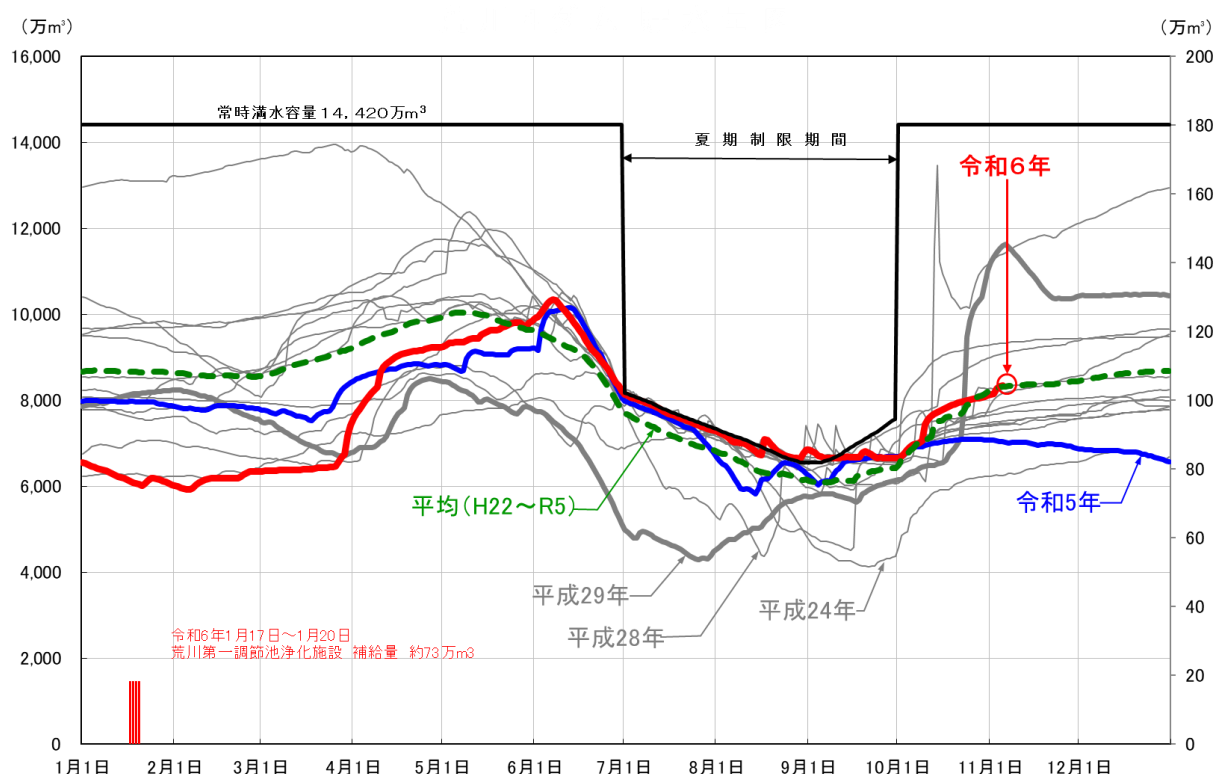
注) 平均値①はデータが存在する期間（59ヶ年）を平均したもの

平均値②は降水量の変化傾向を確認するために直近20ヶ年を平均したもの

2) 荒川4ダムの貯水状況等（令和6年11月5日0時現在）

荒川4ダムの貯水量は、4月以降も平均値を下回っていましたが、5月、6月は平均値を上回る降雨があったため貯水量は増加し、6月以降は概ね平均値以上の貯水量を確保した状態で運用をすることができました。11月5日現在の合計貯水量は、8,344万m³（貯水率58%）となっています。

（表－2、図－2 参照）



図－2 荒川4ダム貯水量図（令和6年11月5日0時現在）

表－2 荒川4ダム貯水量（令和6年11月5日0時現在）

ダム名	有効容量 (万m ³)	貯水量 (万m ³)	貯水率 (%)
二瀬ダム	2,000	30	2%
滝沢ダム	5,800	3,423	59%
浦山ダム	5,600	3,877	69%
荒川貯水池	1,020	1,014	99%
4ダム合計	14,420	8,344	58%
4ダム合計の平均値 (平成22年～令和5年)		8,311	(平均値に対して100%)

※有効容量は常時満水容量であり、貯水率は常時満水容量に対する貯水量の割合

2. 今後の見通し

(1) 気象予報

令和6年10月31日気象庁発表の関東甲信地方の1か月予報(令和6年11月2日から令和6年12月1日までの見通し)によると、向こう1か月の気温は「高い」の確率が80%、降水量は「多い」の確率が60%となっています。また、令和6年10月22日気象庁発表の3か月予報(令和6年11月から令和7年1月までの見通し)によると、向こう3か月の気温は「高い」の確率が40%、降水量は「多い」確率が30%となっています。

なお、令和6年9月24日気象庁発表の寒候期予報(12月～2月までの天候の見通し)によると、関東甲信越地方の今冬は、気温が「高い」の確率が30%、降水量が「多い」確率が20%となっています。

1か月予報(令和6年10月31日発表)

気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 11/02～12/01	10 10 80
		1週目 11/02～11/08	10 30 60
		2週目 11/09～11/15	10 20 70
		3～4週目 11/16～11/29	10 30 60
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 11/02～12/01	10 30 60
日照時間	関東甲信地方	向こう1か月 11/02～12/01	40 30 30

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3か月予報(令和6年10月22日発表)

気温、降水量の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	11月～01月	20 40 40
		11月	10 40 50
		12月	40 30 30
		01月	40 30 30
降水量	関東甲信地方	11月～01月	40 30 30
		11月	30 30 40
		12月	40 40 20
		01月	40 40 20

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

寒候期予報(令和6年9月24日発表)

気温、降水量の各階級の確率(%)			
気温	関東甲信地方	冬 12月～02月	40 30 30
降水量	関東甲信地方	冬 12月～02月	40 40 20

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

3. 今後の対応

- 今後は、荒川流域の降水状況や都市用水の水利用を十分考慮し、工事に伴う貯留制限による利水容量への影響を最小限にするよう努めるとともに、既存施設等を広域的かつ効果的に活用してきめ細かな運用を行っていきます。
- 荒川水系渇水調整協議会としては、必要に応じ幅広い広報活動を通じて節水の協力を要請していくとともに、取水制限等の調整が必要になった場合には、機動的に行っていきます。